

令和6年12月11日

## 法人企業景気予測調査

(令和6年10-12月期調査)

【京都府下の調査結果】



政府統計

6年10-12月

現状判断は2期連続の「上昇」超 (+2.5%ポイント)

【概要】 ※ 特に断りがない場合、計数は全規模・全産業

## 1. 企業の景況（景況判断BSI）

- **6年10~12月の現状判断** は2期連続の「上昇」超 (+2.5%ポイント)。
- **先行き**は、「上昇」超 (翌期(7年1~3月)+0.4%ポイント、翌々期(4~6月)+0.4%ポイント) で推移する見通し。

(注) 景況判断BSIは、前四半期と比較しての「上昇」-「下降」社数構成比。

景況判断BSI（全規模・全産業）

(%)ポイント

現状判断			見通し	
6年4~6月	7~9月	10~12月	7年1~3月	4~6月
▲7.2	+2.1	+2.5	+0.4	+0.4

(参考) 規模別・産業別（現状判断・6年10-12月） (%)ポイント

（全産業・規模別）		（全規模・産業別）	
大企業	+2.9	製造業	+12.0
中堅企業	+17.3	非製造業	▲3.4
中小企業	▲4.2		

## 2. 雇用（従業員数判断BSI）

- **現状判断（6年12月末）**は「不足気味」超 (+28.0%ポイント)。
- **先行き**は、「不足気味」超 (7年3月末+28.5%ポイント、6月末+24.3%ポイント) で推移する見通し。

(注) 従業員数判断BSIは、四半期末の「不足気味」-「過剰気味」社数構成比。

## 3. 売上高・経常利益（除く電気・ガス・水道、金融・保険）

- **売上高**は、6年度通期では前年度比+3.3%の増収見込み。
- **経常利益**は、6年度通期では前年度比▲9.4%の減益見込み。

## 4. 設備投資（除く土地、含むソフトウェア）

- **設備投資**は、6年度通期では前年度比+32.1%の増加見込み。
- 製造業は同+29.0%の増加見込み、非製造業は同+40.1%の増加見込み。

(注) 調査対象は289社。回答率は82.7%。

## 景況感等に関する企業の声（ヒアリング結果）

### 【製造業】

#### （現状）

- 大手コンビニや食料品製造会社からの受注増により、紙製品の生産がピークを迎えている。また、家庭用の紙製品の受注も伸びている。（パルプ・紙・中小企業）
- 仕入価格の上昇を価格転嫁できており、売上も増加。（その他製造・中堅企業）
- 自動車関連業界の設備投資が旺盛なことから受注数は増加しているほか、大型案件も寄与し、前四半期より好調。（生産用機械・中堅企業）
- 販売の主力となっている中国向け製品が、あらゆる分野で需要が低迷しており、当社全体の重荷になっている。（業務用機械・大企業）

#### （先行き）

- 最近では半導体の需要が回復傾向にある中、当社製品の販売価格が上昇傾向にあることに加え、需要の増加に伴い販売点数が増加しており、翌四半期まで同様の見込み。（はん用機械・中小企業）
- 持続的な賃上げにより人件費が上昇していることや、これまでは取引先に価格転嫁を認められていたが、今後も転嫁し続けられるかは不透明であることなどから、見通しは現状よりは厳しい。（情報通信機械・中小企業）

#### （雇用関連）

- 技術職や経理職など全般的に不足している。現状、売上が落ち込んでいるため中途採用は控えており、人員の再配置等で対応している。（金属・中堅企業）
- 販売や製造部門の人手が不足しており、採用活動を行っている。HPの募集ページの変更や、賃金のベースアップなどを行っているが、充足できていない。（情報通信機械・大企業）

## 【非製造業】

### (現状)

- 大学生と企業の交流を支援する事業を行っているが、学生の利用者が増加していることに加え、企業側も学生に対する企業情報やインターンシップ情報の告知を行う等、企業認知の場としての利用が増加している。(広告・中堅企業)
- 様々なジャンルの飲食店のプロモーション事業について、今期はインバウンド客に対するコンテンツを追加しプロモーションを強化したことから、売上が増加。(広告・中小企業)
- 節約志向の影響などから、冬物商品をはじめ、衣料品の売上が全般的に落ち込んでいる。また、仕入価格等の上昇を一部しか価格転嫁できていないことも利益を圧迫する要因。(卸売・大企業)
- 販売先の購入予算の減少等により売上が先細りしている。また、原材料費や輸送費が上昇しているが、他社との競合により価格転嫁もできず、ほとんど利益が出ていない状況。(小売・中小企業)

### (先行き)

- インバウンド客の宿泊者が引き続き多いことから、好調な状況が継続する見通し。(宿泊・中小企業)
- 最低賃金の上昇に伴って、年明けからパートの賃金を増額予定であることが負担。また、従来よりも値上げによる買い控えや他店への顧客流出懸念が高まっていることから価格転嫁しづらい状況になってきており、翌四半期以降は現状よりも厳しくなる見通し。(小売・中小企業)

### (雇用関連)

- 募集をかけて採用しても定着せず、すぐに離職してしまうケースが多かったことから、現在は知人や他社の伝手で職人を探しているが、いい人材は見つからない。業務が多忙なときは、スポット的に職人仲間に業務を依頼することで業務をこなしている。(建設・中小企業)
- 初任給を上げ新規採用者の確保を図っているほか、手当や表彰制度を作り従業員のつなぎ止めを図っている。募集は、ハローワーク、民間求人サイトや、業界共同での就職説明会など、あらゆるチャネルを活用して常時採用活動に取り組んでいる。(陸運・中堅企業)